



## 「JA教育文化・家の光プランナー」 アンケート集計結果 (抜粋版)

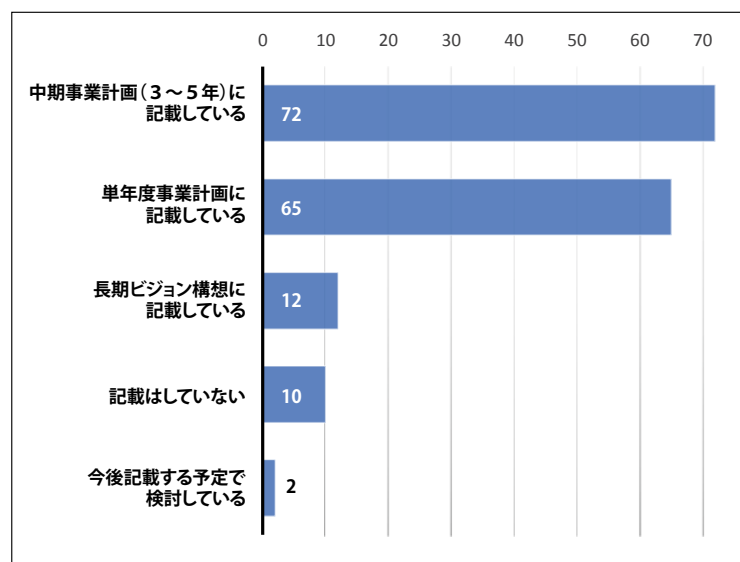
2023年2月～3月に、JA教育文化・家の光プランナーの皆さまへアンケートを実施しました。プランナー登録603人のうち、103人の方から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

主なアンケート項目について、集計した結果をご紹介します。

### 【JAにおける教育文化活動の取組状況について】

- JAにおける教育文化活動の位置づけについて、事業計画に記載されていますか。(いくつでも)

教育文化活動をJA全体の取り組みとして実践するためには、JA内での位置づけが非常に重要となります。事業計画等への記載の有無については、全国の多くのJAが教育文化活動について中期または単年度の事業計画に記載していることがわかりました。一方で「記載はしていない」「今後記載する予定で検討している」の回答も見られました。



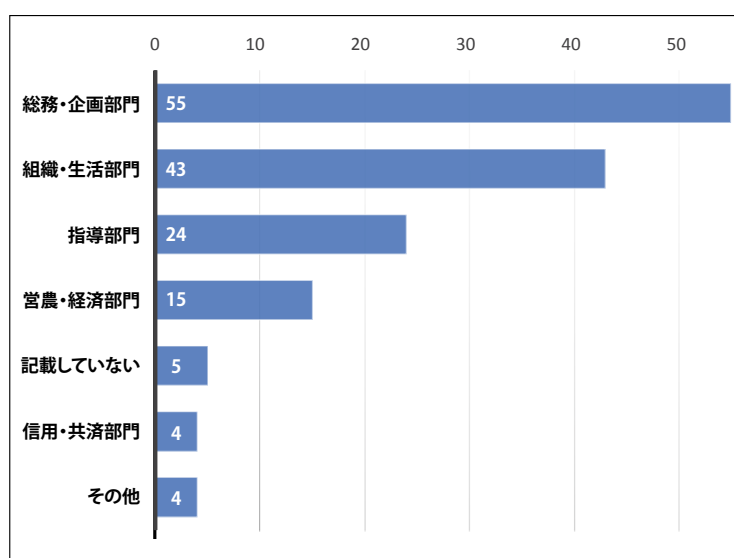
●教育文化活動の取り組みについて、

総代会資料への記載はどの部門にありますか。(いくつでも)

教育文化活動がJ Aと組合員・組合員同士の関係性の強化、そして組合員組織の活性化等、組合員対応において大きな役割を果たす活動であることから、総務・企画部門、組織・生活部門に多くのJ Aが記載していることがみてとれます。

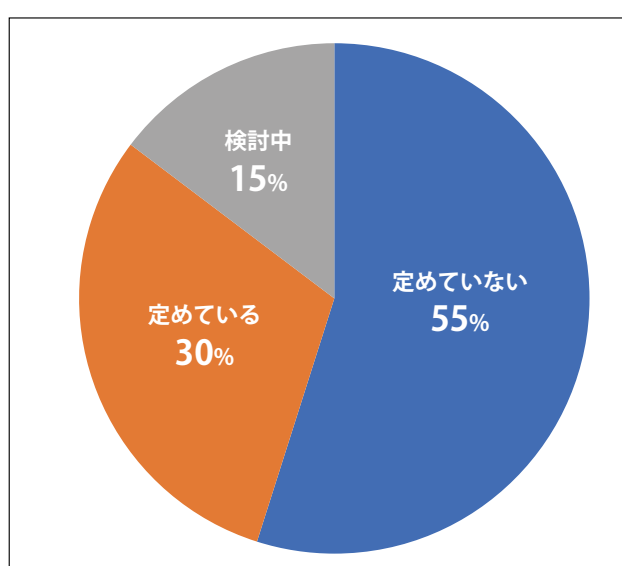
「記載していない」との回答もありましたが、ぜひ

総代会資料に記載いただき、J A全体の事業・活動として教育文化活動にお取り組みください。



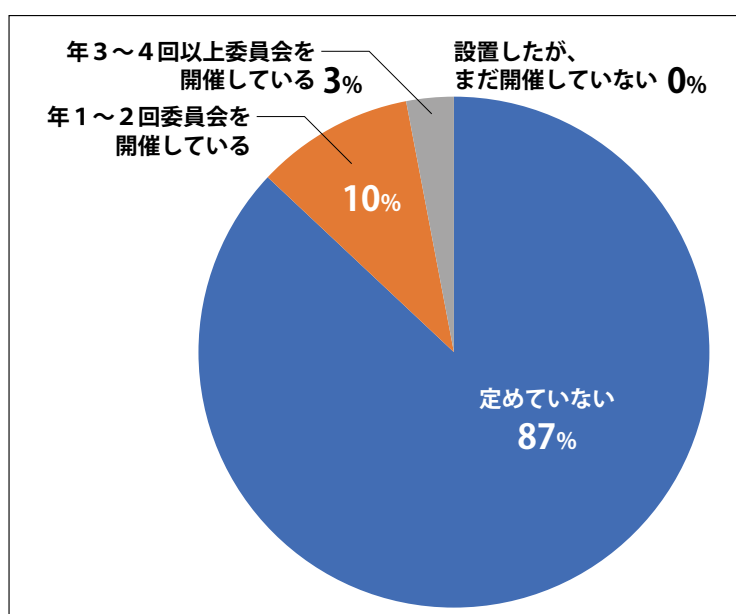
●J A独自の教育文化活動基本方針(J Aファンづくり基本方針等の名称でも構いません)を定めていますか。(いずれか1つ)

回答	回答数
定めていない	56
定めている	31
検討中	15
合計	102



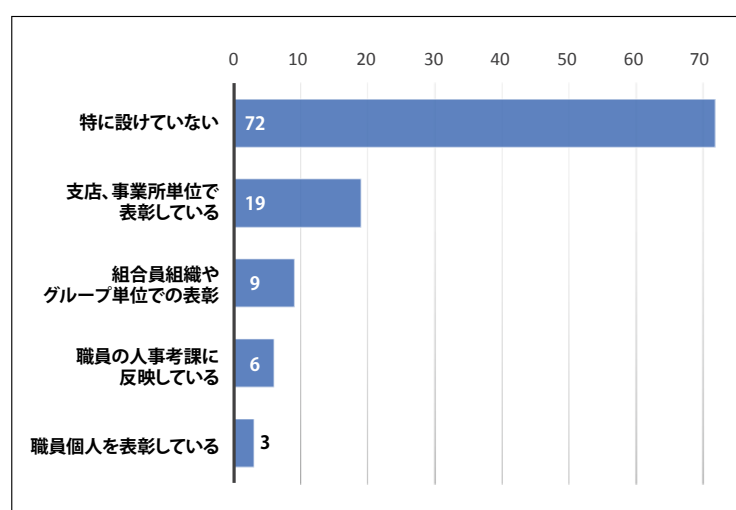
●教育文化活動活性化委員会（担当役員・担当部課長・統括支店長などで構成）の設置の有無と、開催頻度を教えてください。（いずれか1つ）

回答	回答数
設置していない	87
年1～2回委員会を開催している	10
年3～4回以上委員会を開催している	3
設置したが、まだ開催していない	0
合計	100



●教育文化活動に対する評価・表彰制度を設けていますか（支店協同活動、女性組織活動の活性化、食農教育支援など、教育文化活動の取り組みを評価する制度）。（いくつでも）

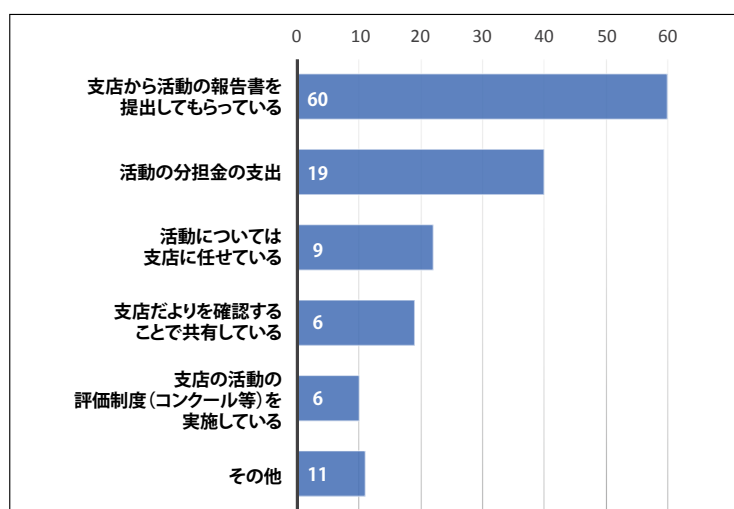
回答として最も多かったのが「特に設けていない」でした。教育文化活動の成果は数値化されにくいという性格があります。しかし、JA運動の基本となる教育文化活動に意欲的に取り組む支店（グループ）や職員（個人）のやる気を喚起し、モチベーションを高めるには、他部門と同じく、公平な業績評価や表彰制度を導入する必要があります。



## 【支店での教育文化活動の取り組みについて】

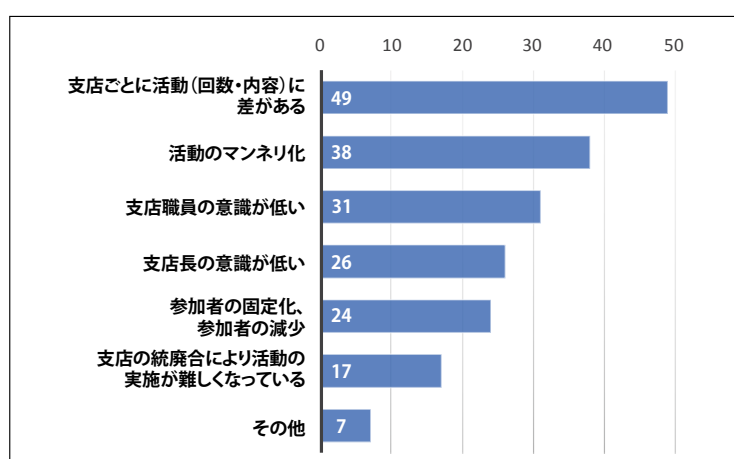
●支店での教育文化活動について、本店ではその取り組みをどのように支援していますか。

「支店から活動の報告書を提出してもらっている」ことで、支店の教育文化活動内容の共有をはかっているようです。また、「活動の分担金を支出」することで、支店の教育文化活動を後押ししている様子が見え、一方で、「活動については支店に任せている」という回答が3番目に多く見られました。



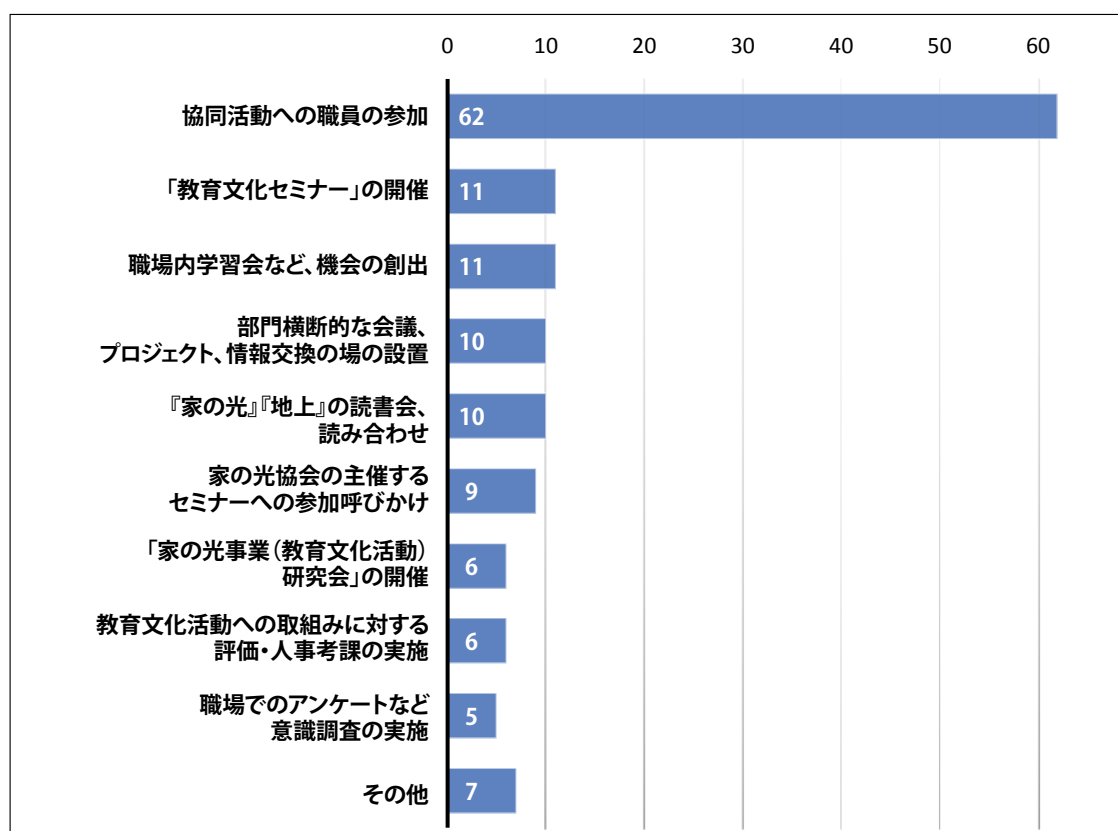
●支店での教育文化活動について、課題に感じていることはなんですか。

課題として回答が多かったものは「支店ごとに活動に差がある」「活動のマナー化」が挙げられました。管内も広く、活動に地域差が出てしまうのは仕方がない部分もありますが、活発に活動している支店の情報共有や他JAの事例などを参考に、ぜひ1つでも多くの活動にお取り組みください。



## 【教育文化活動の課題について】

●教育文化活動の重要性をJA職員に理解してもらうために、どのような取り組みを行っていますか（いくつでも）



非常に多かった回答が「協同活動への職員参加」です。自分自身が実体験をすることこそが、本当の意味で協同組合運動を理解し、実感することにつながると思いますが、この結果に表れているのではないのでしょうか。その後が続くのが「教育文化セミナーの開催」、「職場内学習会など、機会の創出」でした。座学と前述の実践を併せた学習体験を確立する必要性が感じられているところがみてとれます。